

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
地歴・ 日本史 B	3年 (音コース)	3	詳説日本史 (山川出版)	・新詳日本史図表(浜島書店) ・新編史料日本史(とうほう) ・ポテンシャル日本史(山平商会)
科目の概要 と目標	・近世以降の日本の歴史が、変化する国際情勢の中でいかに展開してきたかを学ぶことによって、先人の歩みと苦勞を知り、今後の生き方あり方を考える。また国際人として、基本的な日本史の知識を身につける。			
授業の進め 方	・教科書やプリントを用いて基本的な知識の定着を図るとともに、歴史の流れの中で歴史的事項を位置づける。 ・史料集や図表を活用して史・資料の読み取りの力等を養う。			
評価の観点 と方法	・中間考査、期末考査、校内模試、平常点など			
	学期	単元・学習項目		学習内容・到達度目標
年間 の 授 業 内 容	1 学 期	中世社会の成立 ・鎌倉文化 p113～ 武家社会の成長 ・室町幕府の成立 p120～ ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 p139～ ・戦国大名の登場 幕藩体制の確立 p156～ ・織豊政権 ・桃山文化 ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 幕藩体制の展開 p198～ ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化		・武士の気風や、宋・元の文化が流入した新しい文化についての理解を深める ・室町幕府成立の過程を理解し、政治の混乱の中で庶民の力が政治・経済・文化に大きな影響を与えていくことを理解する ・信長・秀吉・家康と近世社会が形成されていく中で幕藩体制がどのように確立されていくのかを知ると同時に、幕藩体制のしくみを理解できる。 ・国内の安定にともなう農村や都市における産業・経済・交通の発展の様子を理解し、その繁栄にもとづいた元禄文化の特質等について理解できる。 ・幕藩体制を維持するために実施された改革について知るとともに、鎖国下の成熟した町人文化について理解を深める。
	2 学 期	幕藩体制の動揺 p218～ ・幕政の改革 ・幕府の衰退 ・化政文化 近代国家の成立 p250～ ・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・近代産業の発展 p299～ ・近代文化の発達 二つの世界大戦とアジア p318～ ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・市民生活の変容 ・大衆文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦		・幕府崩壊の過程を国際社会のなかに位置づけて理解し、明治新政府の富国強兵策の推進、反政府運動でもある自由民権・立憲体制の樹立の一連の流れを理解できる。 ・条約改正により列強と対等になったわが国の急速な資本主義化・軍事大国化の一方で、生み出された労働・環境問題、内面的変化の少なさなど、二面的な日本人の姿を理解できる。 ・戦争等を通して活発化する日本の海外進出に対し、日本支配に対する抵抗運動が展開されたことを理解できる。 ・大戦後の平和を求める動きを理解し、国内の民主的な動きや文化の大衆化を民本主義や米騒動と結びつけて理解できる。 ・日本が戦争に進んでいく過程を理解し、戦争勃発の理由を自分なりに考えてみるができる。
	3 学 期	問題演習		既習全範囲について大きな流れを掴むとともに、各時代の歴史用語を整理し、時代縦断的に知識のグループ化をはかる。